

ジュニア専門員制度の見直しについて

～「ジュニア専門員フェーズ II」、「キャリアプログレス制度」の導入
及びモニタリング体制の強化

1.改善概要

(1) アドバイザー制度の導入

ジュニア専門員数名に1名のアドバイザー（国際協力専門員等）を配置し、技術的指導や育成指導に加え、援助関係者の紹介等を行う。

(2) 国内研修先選定方法の改善

- ジュニア専門員は、「国内研修要望書」を国総研に提出する。
- 国総研は、上記要望書を関係事業部に提示する。
- ジュニア専門員の受入を希望する関係事業部は、「研修計画（案）」を国総研に提出する。
- 派遣支援部、国総研は、国内研修候補先を1, 2カ所に絞った後、ジュニア専門員、受入希望事業部を加え、4者（含むアドバイザー）で面談を行い、国内研修先を決定する。

(3) 国内研修中のモニタリング体制の強化

- ジュニア専門員は、四半期毎に「研修報告書」を受入事業部に提出する。
- 受入事業部は、コメントを付して、国総研に同報告書を提出する。
- その後、派遣支援部、国総研、アドバイザーは、必要に応じてジュニア専門員、受入事業部に指導・助言を行う。

(4) 海外研修先選定方法の改善

(イ) 企画調査員での派遣が望ましい場合

- ジュニア専門員は、「海外研修要望書」を国総研に提出する。
- 派遣支援部、国総研、アドバイザーは、望ましい派遣形態を検討し、企画調査員での派遣が望ましいと判断される場合には、国総研が派遣支援部経由で上記要望書を関係事業部に送付する。
- 関係事業部は、在外事務所に上記要望書を送付し、ジュニア専門員受入要望を確認する（基本的には要望調査票で受入要望を確認）。
- ジュニア専門員の受入を希望する派遣計画担当事業部は、TOR（研修計画（案））を派遣支援部に提出する。
- 派遣支援部、国総研は、海外研修候補先を1, 2カ所に絞った後、ジュニア専門員、関係事業部を加え、4者（含むアドバイザー）で面談を行い、海外研修先を決定する。

(ロ) 企画調査員以外での派遣が望ましい場合

- ジュニア専門員は、「海外研修要望書」を国総研に提出する。
- 派遣支援部、国総研、アドバイザーは、望ましい派遣形態を検討し、企画調査員以外での派遣が望ましいと判断される場合には、派遣支援部が国総研経由で全派遣計画に係る TOR をジュニア専門員へ提示する。
- ジュニア専門員は、派遣要望（複数）を国総研経由で派遣支援部に表明する。
- 派遣支援部、国総研は、海外研修候補先を1, 2カ所に絞った後、ジュニア専門員、関係事業部を加え、4者（含むアドバイザー）で面談を行い、海外研修先を決定する。

(5) 海外研修中のモニタリング体制の強化

- ジュニア専門員は、四半期毎に「研修報告書」、「進路調書」を在外事務所に提出する。
- 在外事務所は、コメントを付して、国総研に同報告書、同申告書を提出する。
- その後、国総研、アドバイザーは、必要に応じてジュニア専門員、受入事業部に指導・助言を行う。

(6) 海外研修終了後の進路指導体制の強化

- 海外研修終了後、「進路調書」をベースに、派遣支援部、国総研は、アドバイザーを交え、ジュニア専門員に進路指導・助言を行う。
- 派遣支援部、国総研は、ジュニア専門員 II、キャリアプロGRESSを希望するジュニア専門員に対して、帰国後1ヶ月以内に面接を実施し、選考を行う。

2. 上記体制への移行のタイミング

(1) 13年度新規委嘱のジュニア専門員

委嘱当初より適用

(2) 国内研修中のジュニア専門員

海外研修開始時から適用（海外研修先は現行の方法で選定）

(3) 海外研修中のジュニア専門員

随時適用

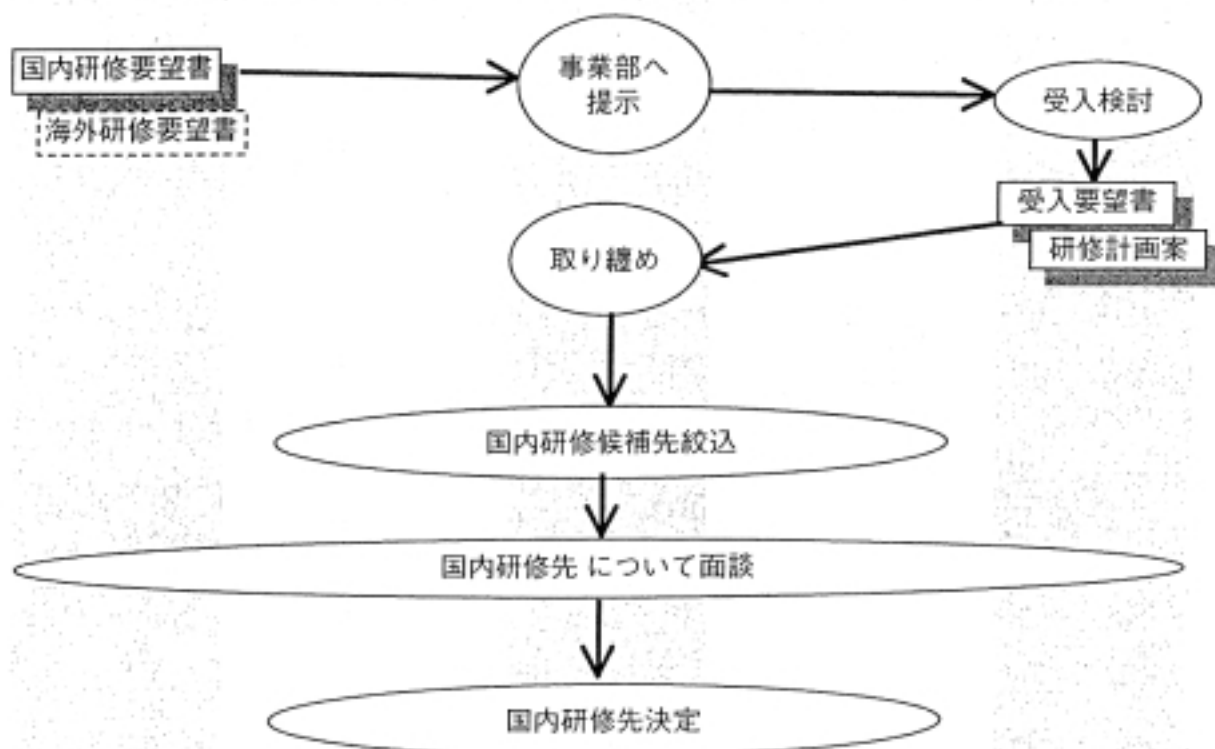
以上

ジュニア専門員制度の改善フロー

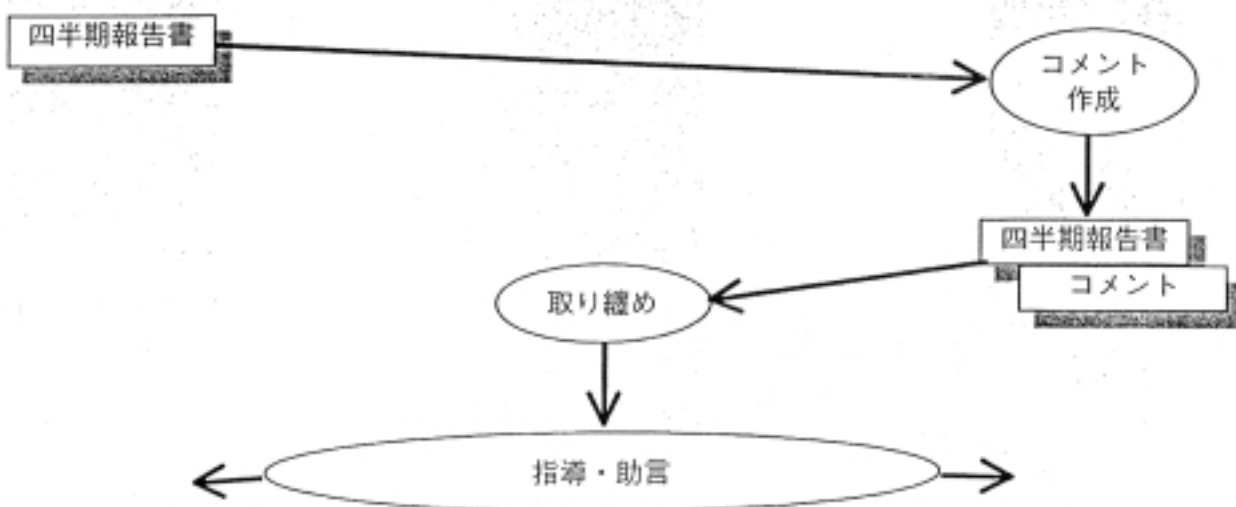
1.国内研修関係フロー

ジュニア専門員 アドバイザー 国総研 派遣支援部 関係事業部 在外事務所

ジュニア専門員合格者決定

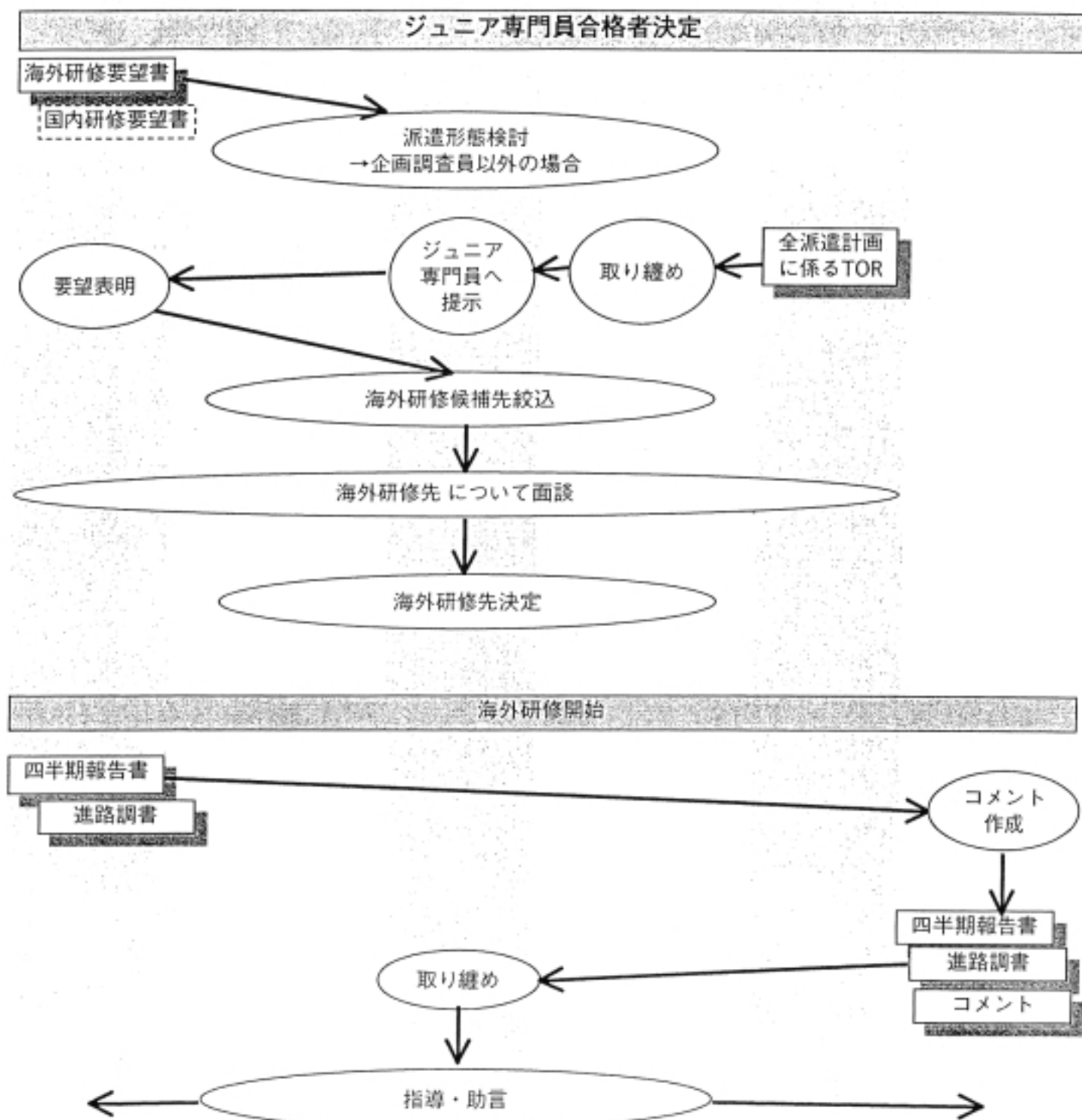


国内研修開始



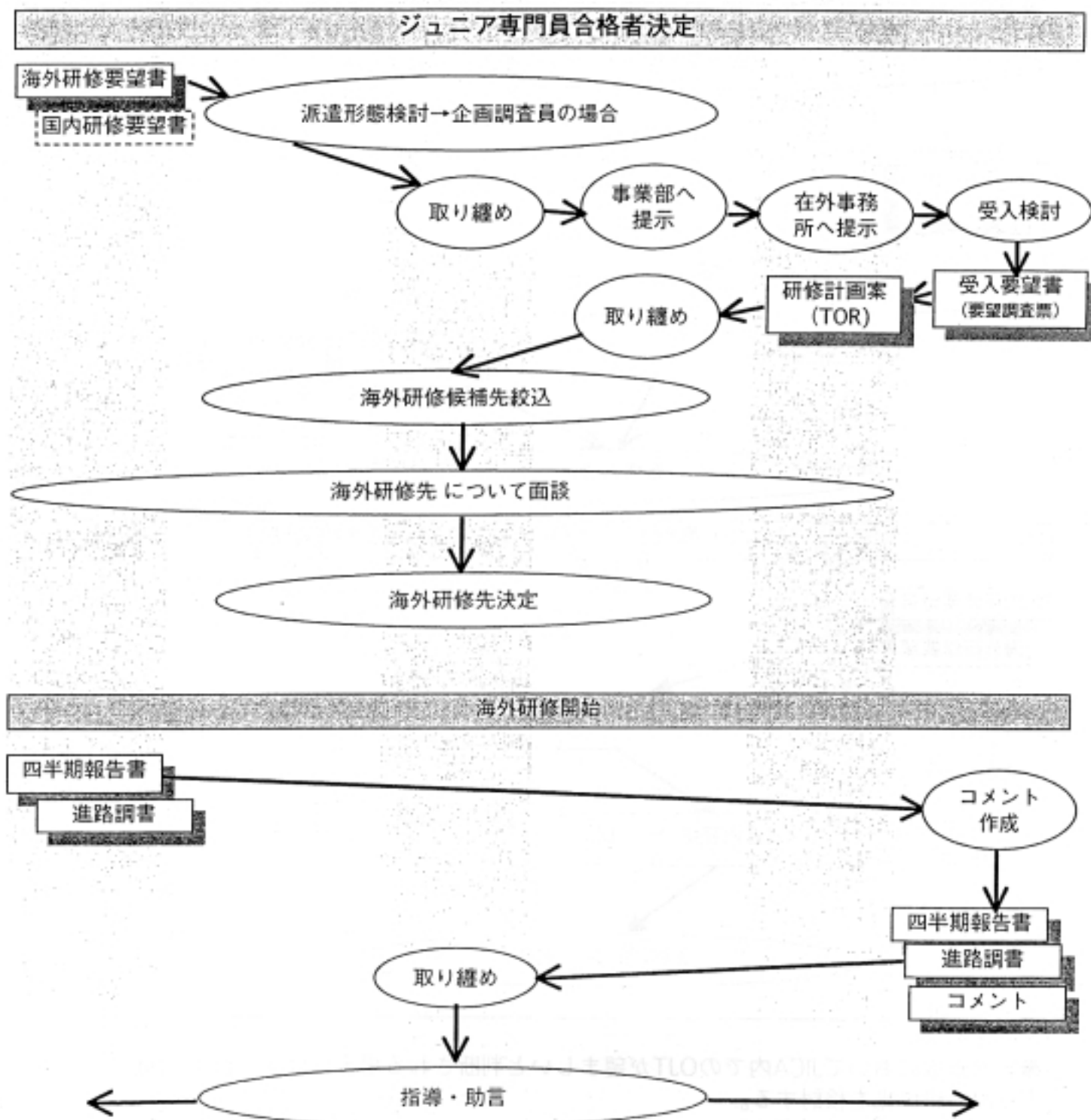
2.海外研修関係フロー（企画調査員以外のパターン）

ジュニア専門員 アドバイザー 国総研 派遣支援部 関係事業部 在外事務所



2.海外研修関係フロー（企画調査員パターン）

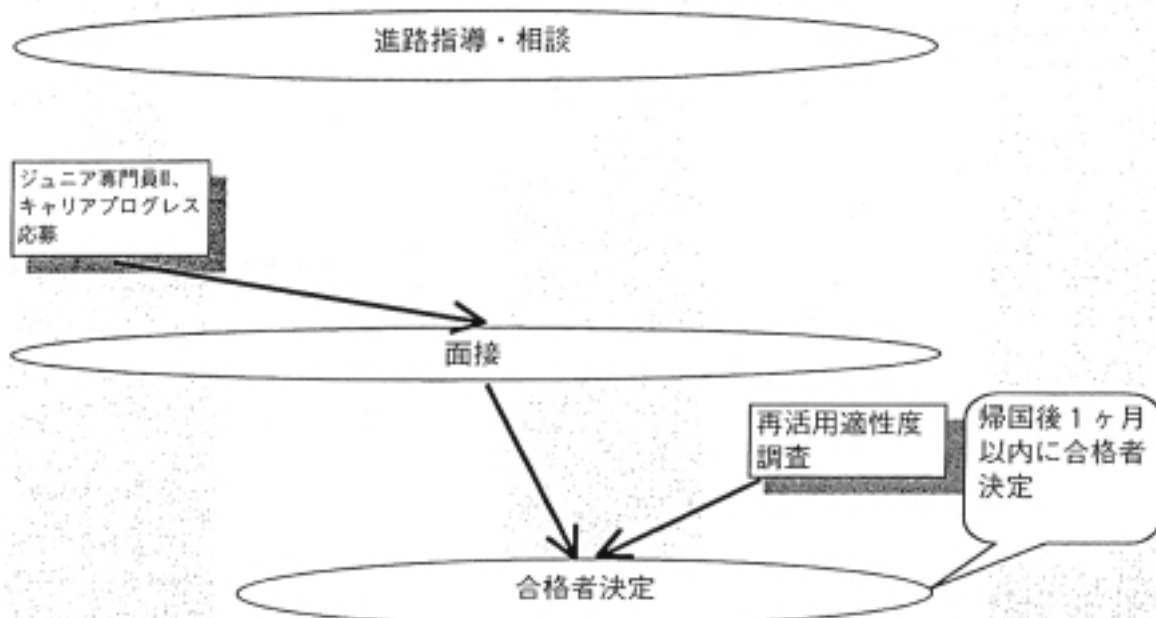
ジュニア専門員 アドバイザー 国総研 派遣支援部 関係事業部 在外事務所



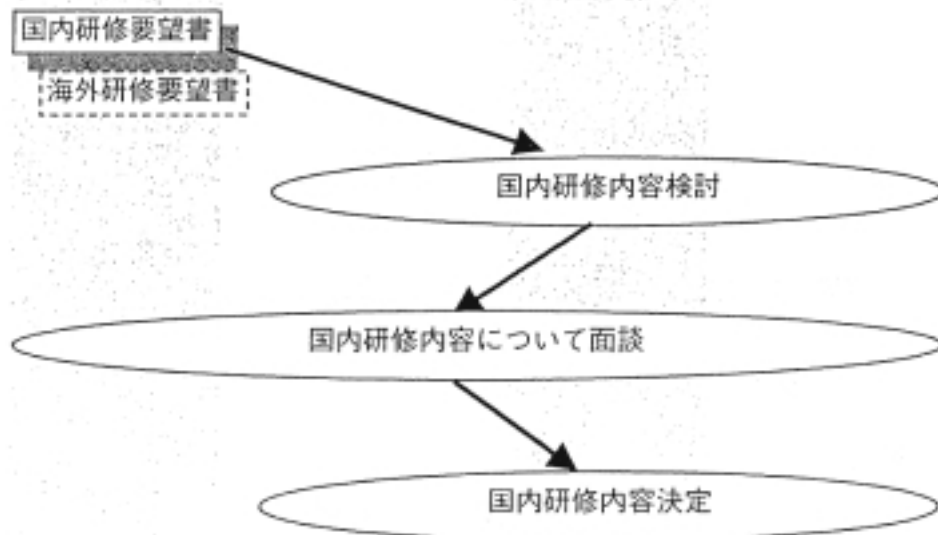
3.海外研修終了後フロー

ジュニア専門員 アドバイザー 国総研 派遣支援部 関係事業部 在外事務所

海外研修終了



ジュニア専門員II、キャリアプログレス合格者決定



補足説明

- 国内研修においてJICA内でのOJTが望ましいと判断される場合には、上記1.と同じフローにより国内研修先を検討する。
- 海外研修先については、上記2.と同じフローにより検討する。